

# 大温室内のラン科植物の 生育状況

青山幹男・磯部実

植栽後3ヶ年が経過し、その間の維持管理状況と生育状況および問題点について報告する。

## 植栽

ラン科植物は北側の壁面を中心に昭和52年夏から秋にかけて植栽し、その後順次補植追加している。現在までにおよそ500品種4,000株に達している。

ランを植栽した壁面は硬めの桜島産溶岩を積んで随所に植え穴を作った。また、オオハマボウ、アコウ、ガジュマル等の樹木はランを着生させることを考慮し、横枝の多いものを選んだ。植栽地を大きく南米産と東南アジア産に分け、自生地の環境等を考慮して溶岩積、枯木、生木につけたり、地面に直接植え付けた。おもな植栽方法は次の通りである。

- A 溶岩の上に水ゴケをわずかにつけて銅線と釘で固定したもの。(カトレア類, オンシジューム, デンドロビウム類)
- B 溶岩積の植え穴に粗いボラ土や水ゴケで植えたもの(パフィオペディルム, シンビジューム, ソブラリア等)
- C 溶岩積の上に木枠植のまま置いたもの。(バンドラ類)
- D 木枠植やへゴ付にしたものを立木につけたもの。(セロジネ, スタンホペア等)
- E 枯木や生木に水ゴケとともにシュロ縄でつけたもの。(オンシジューム, マキシラリア, ゴンゴラ等)
- F 枯木, 生木, へゴ等に水ゴケをつけずにシュロ縄でつけたもの。(バンドラ, レナンセラ, エリデス等)
- G 樹木の下で, ボラ土, 腐葉土を混ぜて地植えたもの。(カランセ, フェイウス等)

## 年間の管理

花ガラ取り, 古葉取り, 除草, 支柱立て, 株の補植等を随時行う。花が少ない時期は栽培温室より開花株を持ち込み, 鉢が見えない

ように岩組みの間に配置する。一般的な管理については, 前述(大温室の年間管理)の通りである。

溶岩積にナメクジが発生し根や蕾を食害するので, 年3回多発期にナメクジ駆除剤をまく。パフィオ, カランセにゾウムシが発生したのでスミチオンで駆除した。カランセ, シンビジュームにバイラス病が発生したので新しい用土, 株に入れかえた。

## 生育状況

- A カトレア類は乾燥しやすいための株がよく根を出し生育もよいが, 湿りがちの所や, 水ゴケを多く使用した株は根の伸びが悪く新芽が腐りやすい。オンシジューム, パルボフィラムは生育良好。フェレノプシスは直射日光が多く当たり乾燥と高温で大部分が衰弱した。
- B ソブラリア, セロジネ, エピデンドラムは生育良好。シンビジュームは光線不足のためか花上がりが少ない。パフィオペディルムでは, 一時自然実生の発生を見たが, 水ゴケが古くなるとともに新芽が腐りやすくなった。
- C バンダは溶岩の間に根がよく伸び生育良好であるが, 日陰になる所や肥料が届きにくい所では下葉が落ちたり, 花上がりが少なくなった。
- D 作り込んだ株をそのままつけたので植えたみがなく非常に生育がよい。
- E この方法で多くの種類をつけたが, 種類や取り付け場所により生育状況に大きな差がみられた。オンシジューム, マキシラリア, フントレアに生育良好な株が多い。
- F Cと同様に比較的良好に根が伸びているが, 水がかかりにくい所や陰になる所では枯死する株が出た。
- G カランセ, フェイウスは生育がよいが, スパソグロティス, ヘマリアは正常な生育ができない。

## 管理上の留意点

- 1 植え付けた場所のわずかなちがいで, 水, 光等の環境が全く変わるので, 種類, 植え方を十分考慮する。
- 2 水ゴケを多く使用すると, 根や芽が腐りや

すくなるので、量を少なくし、古いコケを順次取りかえる必要がある。

3 樹木の剪定は、ランの生育状態を見ながら細かく行う。特に冬期は光線不足になりやすいので強剪定を必要とする。

原 種

属 名	種数	植栽法	生育状況
Aerides	10	F	◎~×
Angraecum	4	B.F	○
Arpophyllum	2	E	○
Ascocentrum	3	F	△
Bifrenaria	4	B.E	○
Brassavola	4	E	○
Bulbophyllum	5	A.F	◎
Brassia	4	A.E	○
Catasetum	5	E	△
Ceratostylis	1	E	◎
Chondrorhyncha	2	E	◎
Chisis	3	E	○
Coelogyne	5	A.D.E	◎
Cymbidiella	2	E	△
Cynoches	4	E	△
Cyrtopodium	2	B	△
Dendrochilum	3	A.E	◎
Dendrobium	9	A.E	○~×
Doritis	1	A	○~×
Epidendrum	10	A.D.E	◎~△
Gongora	2	E	○
Grammatophyllum	2	G	○(未開花)
Grammangis	1	A	△
Huntleya	1	E	○
Laelia	4	A.E	○
Maxillaria	3	E	◎
Oncidium	2	A.E	◎
Peristeria	1	B	△
Phalaenopsis	7	A.E.F	◎~△
Phaius	2	B.G	○
Renanthera	4	F	○~×
Rhynchostylis	2	F	◎
Scuticaria	3	E	○
Sobralia	2	B.G	◎
Trichoglottis	1	F	○
Vanda	8	C.F	◎
Vandopsis	3	F	○
Arundina	1	B	○
Spathoglottis	1	G	△~×
Haemaria	1	G.B	△
Epigenium	2	D	△
Sophronitis	1	G	△
Calanthe	4	G.B	◎
Cymbidium	3	B.G.E	○
Paphiopedilum	5	B	○
Liparis	2	B	◎

4 開花期が冬に偏りやすいので、夏に開花する品種を探す。また、低温を必要とする品種（デビドロビウム、ノビル系等）や夏期の高温に弱い品種（オドントグロッサム類、リカステ等）は栽培温室で開花させて飾る。

Eria	3	A	◎
Zygopetallum	1	B	○
Cirrhaea	1	E	○
Kefersteinia	1	E	◎
Pholidota	1	A.E	◎
Pleione	1	B	△
Schomburgkia	1	A	○
Vanilla	1	D	○(未開花)
Pescatorea	1	E	○

交 配 種

属 名	種数	植栽法	生育状況
Aeridovanda	2	F	○
Angraecum	1	E	○(未開花)
Angulocaste	2	E	×
Aeranda	2	F	○
Ascocenda	2	F.D	○
Doritaenopsis	4	A	×
Dendrobium	10	A.E	○~×
Epiphronitis	1	A	◎
Eulophiella	1	D	○
Oncidium	3	A.E	◎
Phalaenopsis	2	A.E	×
Renantrum	1	F	○
Renanstylis	1	F	○
Renanthoglossum	1	F	○
Rhynchostylis	2	F	○
Rhynchovanda	2	F	○
Vanda	4	D.F	◎
Cattleya	50	A.B.D	◎~△
Calanthe	1	G	◎
Cymbidium	10	B	○
Paphiopedilum	10	B	○
Miltonia	2	B	×
Rhyncoerides	1	F	○

凡例

植栽法 (A~G)

文中で説明

生育状況

◎ 非常に良好, 開花

○ 良好, 開花

△ 不良

× 衰弱, 枯死



地生ラン植栽地における遮光状況



オオハマボウの上で開花する  
*Brassavola*



枯木上で開花する *Rhynchostylis*



熔岩上で開花する  
*Cattleya* 系交配種

## 熱帯果樹の開花結実状況

本園で栽培している熱帯果樹に関する概要は第1号で報告しているが、その後新たに開花結実したものを報告する。

### 新たに開花結実した果樹

ワンピ *Clausena lansium* Skeds. 開花結実  
ハマベブドウ *Cocoloba unifera* L. 開花したが結実せず



ワンピの花

マレーアップル *Eugenia malaccensis* L. 開花結実  
マレーアップルの花は、径3~4cmの大きさで、赤色をおび観賞価値がある。果実も赤色をおびる。

今年は、マンゴーが全く花をつけなかった。昨年度豊作で新芽がほとんど伸びなかったためであろう。

カカオを3本植栽しているが、果実の果皮がかっ色のものと白色のものに区別される。果皮のかっ色のものは、同じように花も着色し、特に果梗の着色が著しいのが特徴である。



枝に直接つくマレーアップルの果実